



●良型のカワハギが次つぎに串を舞う



乗客
人員

●当日最大は28センチ



▲強い引きを見せながら上がったのチョウセンバカマ



▶当日は水深45メートルのポイントで好釣にカワハギが上がった

今回の釣り仲間

●取材でお邪魔させていただいたのは、神奈川県横浜須賀市中澤明男さんが会長を務めるキハギ会の皆さん。釣り物はカワハギです。



▲海水循環させたオケがカワハギを埋め尽くされた

仲間や家族と沖釣りホリデー!

Charter boat fishing with friends and family

貸し切り船 ナビ

仕立専門

●撮影・文 / 古河好夫

【第26回】

三浦半島三崎諸磯港

光二丸

三浦半島の南西部、諸磯湾から出船する光二丸は相模湾の様ざまな人気ターゲットを2隻体制で楽しませてくれる船宿。休日でも5名から受け付けてくれるので少人数のグループにもおすすめです。

TARGET

カワハギ

▼パターンをつかんで良型を連発



出口光一船長に聞きました！カワハギのコツ

「まずはエサのアサリをていねいにハリに付けてください。釣り方は根歩きが基本、オモリが底に着いたら誘い上げて再度着底させます。これを何度か繰り返したら誘いを止めてアタリを聞きます。で、

アタリが出たら合わせてください。慣れてきたらゼロテンションやタタキ、タルマセなどのテクニックを織り交ぜて、その日の釣れるパターンを探します。それと大型のカワハギが掛かった場合はゆっくり巻き上げてください。強引に上げるとハリが折れたりハリスが切れます」

相模湾の多彩な釣り物を楽しい船長が案内

三浦半島三崎諸磯港の光二丸は、諸磯沖や城ヶ島沖を中心に相模湾の多彩な釣り物を楽しめる船宿。出口光一船長に夏から秋にかけてのおすすめを伺うと、まずは8月1日にコマセ釣りが解禁したカツオ&キハダ。

優勝&大物賞でした！ by 吉田正司さん

キハギ会の月例会では全員で腕を競い合い下船後に順位を発表、賞品が贈呈されること。この日の優勝は20枚を釣った横須賀市の吉田正司さんで大物賞もゲット。当日の様様を振り返ってもらいましたが、「朝イチはどうなることかと思いましたが、結果的にはよく釣れた一日になりましたね。今日はオモリを底に着けたまま竿先を3〜4回振って、集寄でカワハギを寄せてゼロテンションで待つパターンがハマりました。釣れるカワハギは良型ばかりで楽しめたし、大物賞となった28センチが釣れたのもうれしいです。カワハギは本当に面白い釣りです。飽きることがありません。8月の月例会も今から楽しみです」優勝&大物賞おめでとうございます。8月も優勝を目指して頑張ってください。



釣り場は諸磯沖の水深30〜45メートル

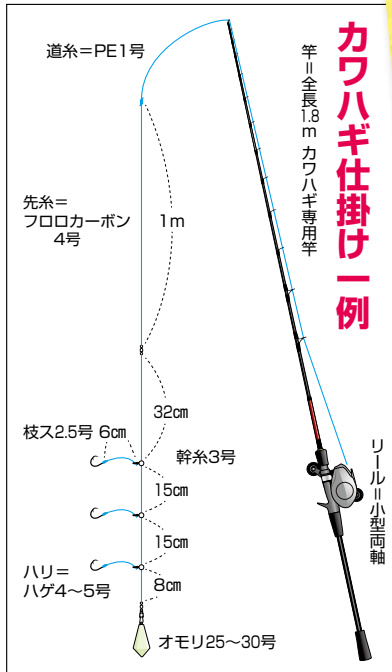


▲オモリは25号と30号を用意。エサはアサリのむき身

昨年の実績でいうと、カツオは数はさほど上がらなかつたものの4〜5キロ級の良型が多くお客さんに喜ばれたという。キハダは最大で55キロをキャッチしたそうなので今年も期待したいところだ。なおカツオ&キハダはコマセ釣りのほカルアーでの出船も受け付けている。群れが入れば城ヶ島、剣崎沖のワラサへも出船。7月下旬の時点でイワシを追っているワラサの群れが見られる日もあるとのことだったが、取材後の7月30日から爆釣が始まった。8月も期待度◎だ。

25〜35センチ級のアカハタが3割ほど交じるというからうれしい。カサゴの魚影はすこぶる濃く一人で30尾以上釣った人もいそう。ピギナーが多いときやファミリーで乗船するときはアジ五目がいち推しとのこと。釣り場は城ヶ島、剣崎沖の水深50〜90メートルで、アジは25〜30センチ級主体に40センチ級も顔を見せ

る。サバやイナダ、ハナダイなども交じりクーラーの中はにぎやかになるそう。そのほかスルメイカやアマダイも面白い。スルメは洲ノ崎、城ヶ島沖の水深150メートル前後を狙う。釣果は日によりムラがあるそうだが、いい群れに当たれば豪快な多点掛けを満喫できるとのこと。



カワハギ仕掛け一例

竿全長1.8mカワハギ専用竿

リール小型高軸

●三浦半島三崎諸磯港
光二丸
MITSUZIMARU
●Misaki-Moroiso Port, Miura Peninsula
☎046-881-5508 (詳細は巻末の情報欄参照)

料金プラン

●第5光二丸 (5.75トン、最大15名)
平日=4名まで3万5000円。5名まで3万8500円。1名増えるごとに7000円。土日祝日=5名まで4万1000円。1名増えるごとに7500円。
●第7光二丸 (7.9トン、最大22名)
平日=5名まで4万1000円。1名増えるごとに7500円。土日祝日=5名まで4万5000円。1名増えるごとに8000円。
※キハダやカツオなどは別料金、電話にて確認。11名以上で乗船の場合は1人1000円の割引あり。沖場がりに後に乗船場または船宿で精算。リレー釣りも可。



▲第7光二丸は7.9トン「12名までが釣りやすい」と船長



▲出口光一船長



▲第5光二丸は5.75トン、8名までが釣りやすいとのこと



《釣り物カレンダー》

釣り物	シーズン(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
カワハギ	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
カツオ									🐟	🐟	🐟		
キハダ									🐟	🐟	🐟		
ワラサ									🐟	🐟	🐟		
カサゴ	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
マダイ	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
アジ五目	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
オニカサゴ	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
スルメイカ	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙
イサキ				🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟		
アマダイ	🐟	🐟	🐟						🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
ヤリイカ	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙
マルイカ	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙
キンメ	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
クロムツ	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟



◀油つぼ入り口の交差点から向かう場合は、写真の小屋の脇道に入って直進すると乗船場に到着



▶船宿は乗船場から車で数分

利用ガイド

- 【予約方法】**
電話にて日程、人数、希望の釣り物などを伝えて日取りを確保
- 【出船時間】**
日の出より出船可能で、時間は希望に対応。釣り時間は出船から帰港まで最大8時間。組合の規定で午後4時までは帰港
- 【エサ、氷、仕掛けなど】**
氷は料金込み。仕掛けとエサは別料金になるが、事前に伝えておけば用意してくれる
- 【レンタルタックル】**
手巻きリールのセット500円、電動リールのセット1000円
- 【集合場所】**
乗船場に集合
- 【備考】**
オリジナルステッカーをプレゼント



●カンカンと竿先をたたく引きがたまらない



▲諸磯沖のカワハギは8月も期待度◎



●25センチ前後がよく上がった



▶光二丸では周年カワハギを受け付けている



▶レンタルタックルは電動リールのセットと手巻きリールセットがあり釣り物に合わせて選べる



▲カワハギの型のよさに思わず笑みがこぼれる



▲大型の取り込みはタモを使うのがおすすめ

光二丸のココが好き!
幹事の中澤明男さんに聞きました!
キハギ会のメンバーと一年中カワハギ釣りで楽しませてもらってます!

「私が会長を務めるキハギ会は発足してから今年で43年になるカワハギ釣りの同好会で、一年中カワハギを狙っています。光二丸との付き合いは会の発足当初からなのでもう40年くらいになります。光一船長のお父さんが舵を握っていたころからですね。光一船長は優しくいねいに釣り人に接してくれているのでありがたいです。キハギ会の月例会では数を競う部門のほか大物賞などもあり毎回盛り上がります。今日は25センチクラスが多く上がって最大が28センチ。いつも良型のカワハギを釣らせてくれる船長に感謝しています」
当日は7名で乗船し、一人あたりの料金は8400円。ご協力ありがとうございました。



光二丸を訪れたのは7月21日のこと。神奈川県横須賀市の中澤明男さんが会長を務めるカワハギ釣りの同好会「キハギ会」の皆さんが月例会で仕立てた船にお邪魔させていただいた。当日は7時に出船。港から10分ほど走った諸磯沖の水深30メートルで開始となったが、カワハギは顔を見せず移動となる。水深45メートルで再開。当日は潮が速いうえに二枚潮で釣りづらそうだったが、そこはベテランの皆さん。仕掛けをうまくコントロールして釣っていく。ここでは早々に20センチ級の本命が取り込まれ、その後は次つぎにカワハギが上がり始めた。釣れるのは20〜25センチ前後の良型ぞろい。ワッペンクラスはハギ釣りの同好会「キハギ会」の皆さんが月例会で仕立てた船にお邪魔させていただいた。当日は7時に出船。港から10分ほど走った諸磯沖の水深30メートルで開始となったが、カワハギは顔を見せず移動となる。水深45メートルで再開。当日は潮が速いうえに二枚潮で釣りづらそうだったが、そこはベテランの皆さん。仕掛けをうまくコントロールして釣っていく。

「今年のカワハギは当たりかもしれませんが、秋口になれば浅場で中小型が釣れるようになるので数ものびると思います」と出口光一船長。
昼を過ぎた時点でのトップは15枚。ほとんどの人が2ヶタの釣果を上げていて皆さん楽しんでる表情を見せる。横須賀市の吉田正司さんが28センチの良型をゲット。「このままいけば今日の大物賞かもしれません」と言ってる。その後もカワハギの食いは順調で、掛け損じやバラシに悶絶しながらも楽しい時間は続き午後2時半に沖揚がり。トップは前出の吉田さんと20枚。「今日はよく釣れて楽しい月例会になりました」と会長の中澤明男さん。

ほとんどの交じらない。パターンをつかんだ人は連発し、海水循環させたオケはカワハギで埋まってくる。ときおり沈黙する時間もあつたが、すぐに復調してカワハギが宙を舞う。「今年のカワハギは当たりかもしれませんが、秋口になれば浅場で中小型が釣れるようになるので数ものびると思います」と出口光一船長。
昼を過ぎた時点でのトップは15枚。ほとんどの人が2ヶタの釣果を上げていて皆さん楽しんでる表情を見せる。横須賀市の吉田正司さんが28センチの良型をゲット。「このままいけば今日の大物賞かもしれません」と言ってる。その後もカワハギの食いは順調で、掛け損じやバラシに悶絶しながらも楽しい時間は続き午後2時半に沖揚がり。トップは前出の吉田さんと20枚。「今日はよく釣れて楽しい月例会になりました」と会長の中澤明男さん。